

茜雲

令和3年3月17(水)

担当：小野澤健(教頭)

～ 令和2年度が終わりました ～

新型コロナウイルスへの対応で、臨時休業から始まり、様々な行事等が変更になり、我慢と同時に「今自分たちにできること」を深く考えさせられた一年が終わりました。そして、阿南第一中学校の一年を締めくくる、学校で一番大事な行事の卒業証書授与式が、本日行われました。本年度は、幸いなことに保護者の方々、在校生、職員で卒業生20名の旅立ちを見送ることができ、本当に感動の卒業式となりました。



田本校長先生より卒業証書をいただく、卒業生の一人ひとりの晴れやかな表情は、義務教育、そして中学校の3か年が本当に充実したものであったことを物語っていたように思います。

今年一年間、学校の「顔」として、毎日の学校生活はもちろん、生徒会活動や部活動、諸行事等で全校をリードしてくれた卒業生の存在は、本当に大きかったと思います。それに続く在校生は、卒業生の姿をしっかりと心に留めて、新たな阿南第一中学校を創っていってくれることでしょう。

4月からそれぞれの新しい道に進む卒業生の皆さん。阿南第一中学校で培った「生きる力」で、予測困難と言われるこれからの社会を、力強く歩いていってください。20名一人ひとりの人生に大きな幸あれ！在校生、職員一同心より祈っています。

ありがとう！そしてさようなら！お元気で！！

卒業証書授与式



3月の様子から

生徒総会



3年生特別日課



3年生を送る会



3年生修学旅行



明日 18 日 (木) より、4 月 5 日 (月) まで春休みとなります。落ち着いてきているとはいえ、まだまだ新型コロナウイルス感染再拡大の心配はなくなっておりませんので、感染予防や健康には十分に注意し、進学・進級に向け充実した春休みにしてください。変更が生じた場合は随時緊急メールまたは電話等でご連絡します。

= 令和3年度 4月当初の予定 =

4月6日(火) 始業式・入学式 ※入学式はコロナ対応のため新生入生、保護者、職員のみで行います。

在校生登校 8:30 (バス 富草 8:20 発、和合 8:00)

学活 8:40~ 8:55 清掃・準備 9:05~ 9:20

始業式 9:35~10:05 学活 10:10~10:30

バス通生の会・3, 5組担任との顔合わせ 10:35~10:50

下校 10:55 (バス富草、和合ともに 11:00)

7日(水): 給食開始 生徒会対面式・入会式 春の登下校指導 (~9日)

8日(木): 3年第1回テスト 部活動発足会

9日(金): 全校学習オリエンテーション 生徒会① 発育測定

12日(月): 防災訓練① 13日(火): PTA常任委員会 15日(木): 耳鼻科検診

16日(金): 部活動正副保護者会長会① 19日(月): 交通安全教室

21日(水)・22日(木): 尿検査 23日(金): 参観日、PTA総会

<< 令和2年度末転退職員 >>

在職の長短はありますが、大変お世話になりました。
ありがとうございました。

□小野澤 健 教頭: 松本市立鎌田中学校へ

□今村 哲也: 飯田市立緑ヶ丘中学校へ
(英語科、教務主任、研究主任)

□小西 千夏: 伊那養護学校へ
(音楽科)

□清水 創: 高山村立高山中学校へ
(数学科、3学年担任、人権道徳教育)

□小池 政博: 高森町立高森中学校へ
(数学科、学力・指導力向上担当)

□松下 茂男: 退職
(用務員)

新型コロナウイルス感染防止のために
休み中も以下の点にご留意ください。

・毎日健康観察(検温等)を行う。

健康チェックカードの活用

登校する場合は忘れずに持参する

・感染拡大地域(県内外)への外出は
できるだけ慎重に行う。

・何かご心配なことがあれば、学校へ
ご連絡ください。

学校: 0260-22-2014

緊急: 090-2412-0270(校長田本)

【ご家庭の皆様、地域の皆様へ】

一年間、本校の教育活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

コロナ禍の一年となりましたが、全校生徒・職員ともに無事に過ごし、本日無事に卒業式を終えることができました。これもひとえにご家庭の皆様、地域の皆様のお力添えのことと、深く感謝いたします。

職員一同、どの子にとっても安心・安全な学校づくりを目指して取り組んで参りましたが、まだまだいたらないところも多かったと思います。今年一年の成果と課題を明確にし、来年度も、ご家庭の皆様、地域の皆様とともに、子どもたちみんなが「楽しい!」「行きたい!」と心から思える学校、そして確かな学力が身につく授業づくり、ご家庭や地域の皆様に信頼していただける阿南第一中学校を目指し、精進して参りたいと思います。令和3年度も変わらぬ、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

一年間お世話になりました。ありがとうございました。



令和2年度 卒業証書授与式

< 学校長式辞 >

式 辞

やわらかい春の日差しと梅の花の香りに誘われて、小鳥たちが枝から枝へと飛び交っています。本日は、阿南町教育委員会 林 一仁 様のご臨席を賜り、令和2年度の卒業証書授与式が、挙行されることとなりました。

20名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。ただ今みなさんひとりひとりに手渡した卒業証書は、中学校の過程を全て修了し、卒業するという証です。卒業証書の左肩にはひとりひとり番号が記されています。みなさんは、阿南第一中学校の3331番目から3350番目までの卒業生として、本校の卒業生名簿に名を連ねることになります。

さて、この一年は、世界中の人たちが出口の見えないトンネルの中にいるような不安な気持ちになった一年でした。どうすることが正解なのか分からない中で、それでも私たちはあきらめることなく知恵を絞り、力を合わせて乗り越えてきました。

みなさんにとっても様々なできごとがありました。引き継いだ生徒会は思うようにスタートを切ることができず、第1回生徒総会を開くことができたのは6月になってからでした。また最後の大会である中体連夏季大会は中止となり、7月末から8月にかけての代替大会で幕を閉じました。そして茜祭は2日間の日程を1日に短縮しての開催となりました。

そんな中でもみなさんは、一中生ひとりひとりの笑顔が輝くようにと願いを込めて「輝」という生徒会スローガンをかけ生徒会の運営を行ってくれました。茜祭のASFでは感染対策に配慮した楽しい種目を企画してくれました。茜ステージでも全校生徒が楽しめるよう盛り上げてくれました。また、休日に登校し力をあわせて作成したステージバックの幻想的な月の光は見事でした。茜祭が終わった後の職員室で担任が「茜祭が終わってみて、こんなに力のある子たちならもう1日やらせてあげたかったと思う」と語ってくれました。

今日までの中学校生活の中では、思うようにいなくてくじけそうになったり、不安や迷いで前に進めなかったりしたこともあったと思います。大人に近づいていく自分を客観的に見るもうひとりの自分がいて、小さな子どもの頃のように、周りのことなんか気にせずに思い切り振る舞うことがためらわれ「じゃあ自分はどうすればいいんだ」と悩むこともあったかもしれません。

みなさんの少しだけ先を歩いている未来の自分ならこんなふうにご答えてくれるでしょう。

「拝啓ありがとう/十五のあなたに伝えたいことがあるのです/自分とは何でどこへ向かうべきか/問い続ければ見えてくる/荒れた青春の海は厳しいけれど/明日の岸辺へと夢の舟よすすめ/今負けないで泣かないで/消えてしまいそうな時は/自分の声を信じ歩けばいいの/大人の僕も傷ついて眠れない夜はあるけど/苦くて甘い今を生きる/人生のすべてに意味があるから/恐れずにあなたの夢を育てて」

みなさんが歌った「手紙～拝啓十五の君へ～」の歌詞です。今、振り返れば、楽しい思い出だけでなく「もっとこうしておけばよかった」という後悔の念も浮かんでくるかもしれません。しかし、この3年間のみなさんの歩みに意味のないことはひとつとしてありません。これから歩いていく人生の中でこの3年間のできごとはきっと自分の糧となってみなさんを助けてくれることなのでしょう。見えない一足一足の歩みが確かにみなさんの道を創ってくれるはずです。未来は自分が創るもの、これから先も常に自分に問い続け、正解かどうかを恐れることなく、自分を信じて歩みを進めていってほしいと願っています。私たちは、これからもずっとみなさんのことを応援しています。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠にありがとうございます。ふり返ればあっという間の三年間、しかし、いつの間にか目の前に立つ我が子の目の高さは親を超え、大人に近づく内面の変化に戸惑われたこともあったのではないのでしょうか。今、広い世界への入り口に立ち、新たな一歩を踏み出そうとしている我

が子の力を信じて支えていただきますようお願いいたします。

本日参列していただくことができなかつたご来賓の皆様・地域の皆様そして保護者の皆様の温かなご支援、ご協力にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

卒業生のみなさんの今後の飛躍と、本校に心を寄せていただいている全ての皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます、式辞といたします。

令和3年3月17日

阿南町立阿南第一中学校 校長 田本けい子

< 送 辞 >

送 辞

草木も長い眠りから覚め、生命の息吹を感じられる季節となって参りました。

本日、晴れてこの阿南第一中学校の卒業を迎えられた二十名の卒業生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。在校生一同よりお祝い申し上げます。

今、卒業生の皆さんはこの阿南第一中学校で過ごした三年間をどのように振り返っているのでしょうか。多くの人と出会い、貴重な経験をした日々は大切な思い出となっていることと思います。

皆さん常に私達後輩の先頭に立ち、引っ張ってきてくださいました。そんな皆さんの姿は、私達の憧れであり、目標でありました。

部活動では常に全力で一生懸命に取り組み、努力する姿はとても輝いて見えました。そんな皆さんの姿は私達のお手本であり、机の上の勉強だけでは得ることのできないものを教えていただきました。最後までボールを追い続け、あきらめないという気持ちが輝いていた中体連。茜祭で聴く人の心にいつまでも残り、元気を与えた吹奏楽部の演奏。見る人、聴く人に感動や喜びを与えてくださった皆さんの姿や演奏は、今でも心に残っています。

そして、生徒会活動では「輝 ～一人ひとりの笑顔の輝く生徒会～」というスローガンのもと、学校をリードして来られました。「輝」を大切に作り上げられた生徒会は、学校生活の中や授業中、部活動など様々な場面で笑顔が輝いていました。そして、皆さんを中心として行われた第52回茜祭では、「月～輝こう一人ひとりが自分の笑顔で～」というテーマのもとで多くの人に感動と驚きを与え、多くの笑顔を生み出してくださいました。特に、開祭式で初めて目にしたステージバックは圧巻でした。真ん中にある大きな月は、ブラックライトを当てると光る工夫がされていて、強く感動しました。笑顔であふれていた茜ステージ。各競技全力で競い合ったASF。どんな場面でも笑顔であふれていた茜祭は、一人ひとりが自分の笑顔で輝くことができました。その中でもASFの全校縦割りチームで行った玉入れは、初めての挑戦でした。皆さんを中心に声を合わせ、他学年で何かを成し遂げる達成感を味わうことができました。そして、一中生一人ひとりの笑顔が「輝」いた時間でもありました。皆さんのアイデアあふれる一日は多くの人に残り忘れられないかけがえのない日となりました。

今、私達は生徒会、部活動を引き継ぎ、中心となって運営していくことの大変さを実感しています。皆さんがいなくなると思うと、寂しく心細いですが、皆さんの築き上げてくださったこの学校がよりよいものになるよう、残された私達も精一杯努力していきます。

卒業生の皆さんはこれから先、それぞれの選んだ道を進んでいけます。時には困難にぶつかることもあるでしょう。そんな時にはこの阿南第一中学校で仲間と過ごしたことを思い出し、乗り越えてください。私達は力強く進んでいく皆さんのことをいつもでも応援しています。

最後になりましたが、卒業生のみなさんに改めて感謝の意を表すとともに、今後のご健康とご活躍をお祈り申し上げます、送辞とさせていただきます。

令和3年3月17日

在校生代表 飯島 穂乃花

< 答 辞 >

答 辞

時折、頬を打つ暖かい風に、春の訪れを感じる季節になってまいりました。

本日は、私たちのために、盛大な卒業証書授与式を挙げてくださり、誠にありがとうございます。先生方をはじめ、保護者の皆様にご臨席いただきありがとうございます。そして、卒業を迎えられることに卒業生を代表して、厚く御礼を申し上げます。

思い起こせば、三年前、私たちは満開の桜のもと、少し大きめの制服に身を包み、喜びや不安を胸にこの阿南第一中学校に入学しましたが、あっという間に三年間が過ぎてしまいました。三年間の中学校生活では、楽しかったことも大変だったこともたくさんありましたが、たくさんのことを学び身も心も大きく成長することができました。

私が中学校生活の中で最も印象に残っているのが、第五十二回茜祭です。本年度の茜祭は「月～輝こう 一人ひとりが自分の笑顔で～」をテーマとして役員はじめ全校で協力して準備を進めてきました。準備の際に、大きな壁にぶつかったこともありました。しかし、信頼できるクラスメイトや先生方のくれたヒントのおかげで、前に進むことができました。そして茜祭本番では、準備や練習の成果を発揮し、最高の文化祭を創りあげることができました。

茜祭が終わった後は、それぞれの進路を実現するために、努力を重ねる日々を過ごすことになりました。そんな私たち、先生方は親身になって指導してくださいました。そのおかげで、自分自身の道を見極めることができました。

そして何より、今まで一番近くで支えてくださった、両親、家族のみんな。毎日の生活から、部活動、進路の相談など、いつも私たちを温かく見守ってください本当にありがとうございました。そして、これからもよろしくお祈りします。

今日、私たちはこの阿南第一中学校を卒業します。三年間共に生活してきた仲間ですが、これからも近くで過ごす人や遠くになってしまう人もいます。しかしお互いを励まし合い、助け合い、明日からの新しい生活に待ち受ける壁も、一步一步歩み続けたいと思います。

最後に卒業生を代表し、今まで支えてくださったすべての方々に感謝の気持ちをお伝えし、答辞といたします。

令和3年3月17日

卒業生代表 秦 大馳

